

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

湧く湧く体験塾「防災キャンプ」

9月27日から28日の2日間、富美地区住民センターにて防災キャンプを実施しました。当日は、18名の塾生が参加し、避難所生活を想定した部屋作りや夕食準備など様々な体験を通して、防災知識を深めたり塾生同士で交流を深めることができました。

1日目は、段ボールベッドや簡易ベッドの組み立てと、組み立て式のパーティションを使った部屋作りなど、避難所を想定して実際に自分たちだけで生活環境を整える体験を行いました。初めて組み立てるベッド等に塾生は悪戦苦闘。大人に聞いたことを塾生同士で共有したりと自分たちで考え、何とか形になりました。心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶプログラムでは、遠軽地区広域組合消防署上湧別出張所から2名の職員が講師として、実技を交えた講習を行っていただきました。特に人形を使った心臓マッサージ体験では、実際のリズムや回数を行いヘトヘトになっていましたが、充実した体験でした。



負傷者の運搬体験の様子

2日目は、牛乳パックを利用したホットドックを調理。パンにソーセージを挟み、アルミホイルで包んで、牛乳パックに入れて火をつけます。油分を含む牛乳パックはよく燃え、5分ほどで美味しいホットドックが完成。できばえを見せ合いながら食べている様子で、少し焦げている部分が香ばしくておいしい！焦げすぎて苦い！といった笑い交じりの会話が聞こえてきました。



ホットドック調理の様子(朝食)

明日の元気は、きょうのスポーツからみんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

五鹿山マラソン2025が開催されました！

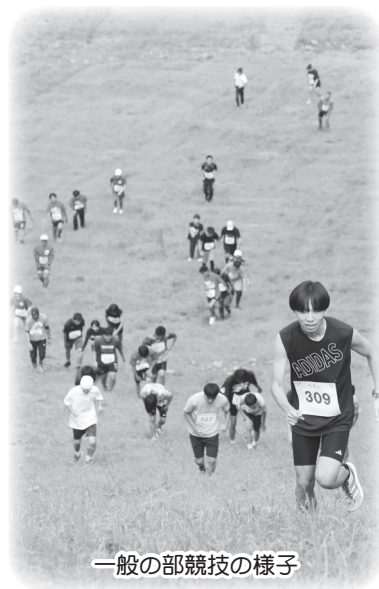
9月7日、五鹿山スキー場において、第7回目となる「ゆうべつ五鹿山マラソン2025」(湧別町体育協会主催)が開催されました。今年はアクティブチャレンジ2025にも合わせて開催しており、参加者が76名と、大いに盛り上がる大会となりました。

小学生の部は32名の参加があり、普段走ることのない坂道を元気いっぱい走り切っていました。

高校生の部、中学生・一般の部は一斉にスタートし、五鹿山スキー場を周回する約2kmのコースを駆け上がりました。

団体の部は3人1組で約1キロのコースを1人1周しタスキを繋ぎました。

選手は「登りは辛かったけど、諦めずに最後まで走り切りました」と爽やかな汗を流していました。



一般の部競技の様子



小学生の部(低学年)競技の様子

青年は町の原動力 自らを磨き高めよう ～青年教育推進目標～

令和8年「20歳の集い」は来年1月11日(日)開催です～20歳の集いお知らせ～



令和7年「20歳の集い」入口前の様子

「20歳の集い」は、20歳を迎えられる皆さまの門出を祝う大切な式典であり、久しぶりに旧友と再会する機会です。

対象となる方々へは10月中旬に案内を送付しています。「10月以降に住民となられた方」「湧別町外に住民票がある方で湧別町の20歳の集いに参加を希望する方」など出席を希望される方は11月17日(月)までに社会教育課社会教育グループへご連絡下さい。(電話 01586-5-3132)

【日程】令和8年1月11日(日) 式典13時30分～

※13時00分までに集合願います。

【会場】湧別町文化センターさざ波(大ホール)

【対象】平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれの方
(令和7年度に20歳を迎えられる方)

【20歳の集い交流会について】

式典終了後に多目的ホールで交流会を1時間程度実施しますので、ぜひご参加ください。

また、交流会内のレクリエーションの運営・企画をしてみたいという方を募集しています。希望される方は「20歳の集い」出欠報告と併せてご回答ください。
※既に対象となる方へ送付している案内の二次元バーコードからご回答をお願いします。



令和7年「20歳の集い」交流会の様子

リレーエッセイ

スポーツ推進委員さんのある一日 第178回

先日、息子が通うこども園のマラソン記録会を見に行きました。息子はマラソンが苦手で、当日の朝まで「雨が降らないかな」「今日お休みしてもいい？」と弱気なことを言っており、そんな息子の姿に少し心配もしていたのですが、いざスタートの合図が鳴ると、一生懸命に走り出し、最後まであきらめずに走りきる姿を見せてくれました。

苦手意識があってもやりきる力があり、子どもは本番に強く、思っている以上の力を発揮できるんだなあと感じました。私自身も「できるかな」と不安に思うことが多いのですが、子どもたちの真剣なまなざしや頑張る姿は、大きな励ましにもなり、挑戦する大切さを教えられた気がします！

スポーツ推進委員 今野 愛海

成人は町の太黒柱 すすんで地域に携わろう ～成人教育推進目標～

第49回湧別町民大学が開講中です。



第4回 10月29日 (水)

開場：18時30分 開講：19時00分

やまもと めい
山本 命 氏

松浦武四郎記念館 館長

『幕末の探検家松浦武四郎が見た167年前の湧別』

1976年大阪府堺市生まれ。奈良大学文学部文化財学科を卒業後、三重大学大学院人文社会科学部研究科に進学、2001年に中退し、三重県松阪市にある松浦武四郎記念館の学芸員を務める。同館主任学芸員を経て、2022年から同館館長。幕末から明治維新期を生きた松浦武四郎の魅力を伝えるため、日本各地で講演を行っている。



第5回 11月20日 (金)

開場：18時30分 開講：19時00分

つばた としお
坪田 敏男 氏北海道大学大学院獣医学研究員・教授
北海道大学総合博物館・館長 / 獣医学博士

『ヒグマはなぜ人里に出没するのか』

1961年大阪生まれ。北海道大学大学院獣医学研究科博士課程を修了。獣医学博士。岐阜大学農学部獣医学科助手、同助教授および同教授を経て、2007年4月より現職。専門は野生動物医学。とくにクマ類の繁殖と生態に関する研究は40年来の仕事。野生動物疾病学会(WDA)アジアパシフィックセクション代表、日本野生動物医学学会会長、日本獣医学会野生動物学分科会会長、日本クマネットワーク代表を歴任、現在は北海道獣医師会野生動物部会長、ヒグマの会会長、野生動物リハビリテーター協会会長などを兼任。

【会場】湧別町文化センターTOM

住所：湧別町中湧別中町3020-1

【対象】一般（町外の方も受講できます）

※小中学生は、成人の同伴が必要です。

【申込】電話申し込みの他、ホームページからでも申し込みができます。

【受講料】全5回共通 1,000円

1回のみ 500円

※義務教育学校PTA会員
高校生以下無料【ご連絡】湧別町民大学実行委員会
事務局 社会教育課内

TEL 01586-5-3132



湧別町民大学

(湧別町公式ホームページ内サイト)



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう ～高齢者教育推進目標～

チューリップ生きがい大学「研修旅行」

旧東川小学校にて陶芸体験の様子

9月1日から2日に26名の生きがい大学学生と引率2名、計28名で東川町、旭川市へ研修旅行に行ってきました。

お昼は東川町の食堂「笹一」でお弁当を食べ、旧東川小学校の建物で陶芸体験を行い、食洗器・電子レンジ対応のカレー皿・サラダ皿を作りました。乾燥して焼き上がるのに1ヵ月程かかるとのこと、今から出来上がるのが楽しみです。

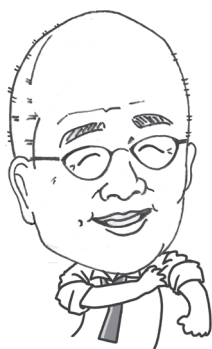
次に「男山酒造」を訪ねました。酒造り資料館では江戸時代以降の酒造りの道具が展示されており、新しくできた「酒パーク」では、試飲コーナーやカフェ、米ラテやソフトクリームなど買い物を楽しみました。

宿泊先のアートホテル旭川のパティシエは、パリオリンピックやり投げ金メダルの北口榛花選手のお父さんです。「昔ながらの北口家のプリン」「榛（はしばみ）のエクレア」を食後のデザートにいただき、お土産に「金メダルタルト」をいただきました。

2日目は、「旭川市立博物館」「川村カ子トアイヌ記念館」に行きました。どちらの施設も丁寧なガイドがあり、開拓前の上川アイヌの信仰や暮らし、屯田兵入植以降の旭川市・上川地方の発展の歴史を学ぶことができました。

石さんのわくわく子育てコラム No.4

【そこに惹かれる？】



「なんかいい石見つけました。」3kgほどの綺麗な卵型の黒曜石。3年生の子が学校に来る途中の家の庭から運んできたとのことでしたが、家の場所を聞いて返してきました。我が家の息子もカバンがやけに重い時があり、中から2kgほどの石が出てきました。変わった模様、きれいな形、きれいな色の石が好きな子が結構います。なぜそこに惹かれるのでしょうか・・・。

子育てのことで心配なことがありましたらご相談ください。

教育委員会 社会教育課（01586）5-3132

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう ～図書館活動推進目標～

「秋の読書週間特別展示」を開催しています！

中湧別図書館と湧別図書館では、「秋の読書週間」に合わせて下記のとおり特別展示を開催しています！

ぜひご来館ください。

【中湧別図書館】

「おばけやしき in 中湧別図書館」

前回大好評だったお祭りに引き続き今回は図書館内におばけやしきが登場します！同時にお化けがでてくる絵本も展示しますのでぜひお子さんとご来館ください。

■期 間：11月4日（火）から12月7日（日）まで

■開館時間：10時00分から18時00分

■休 館 日：毎週月曜日・図書整理日12月2日（金）



【湧別図書館】

「文芸エクラ大賞2025」紹介展示

かつて夢中になって読んだ感覚をもう一度。最近、本から少し離れていた大人のための読書案内！

■期 間：10月26日（日）から11月30日（日）まで

■開館時間：10時00分から18時00分

■休 館 日：毎週月曜日・図書整理日10月31日（金）

中湧別図書館「読み聞かせ会」のお知らせ

【日 時】 11月 1日（土）13時00分から14時00分

11月15日（土）13時30分から14時00分

【場 所】 中湧別図書館 おはなしコーナー

※11月15日（土）にはクリスマスツリーの飾りつけを行います。ぜひお子さんとご来館ください。

11月の図書館休館日

3日（月）、10日（月）、17日（月）、24日（月）

*図書整理日（月末日）は休館日です。（月末日が土曜日・日曜日の場合は翌火曜日です。）

*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10時00分 から18時00分

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150

lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122

lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ87

擦文文化と種実

シブノツナイ竪穴住居群で
見つかった植物の種と実

博物館だより

—ふるさと館 JRY・郷土館—

【189号】

竪穴住居跡で採取した土壌を分析した結果、様々な植物の種や実、動物の骨が見つかりました。カマド周辺の焼けた土から出土したため、調理や加工の際の混入や、食べ残しが燃えたものだと考えられます。今回は植物の種や実について紹介します。

植物 1：木の仲間

炭化した種実は長い年月を経ても土の中に残るため、発掘調査で採取することができます。

現在、7種類18点の炭化種実が同定できています（右写真）。

木の仲間は3種類見つかりました。1はキハダ、2はサンショウ属、3はニフトコです。キハダは果実が食用になるため、住居の周辺に育成していたものを採取して利用したと考えられます。アイヌ民族の例では食用だけでなく、香辛料や薬用としても利用されていたようです。サンショウ属とニフトコも食用可能なので、周辺に育成していたものを採取していたと考えられます。

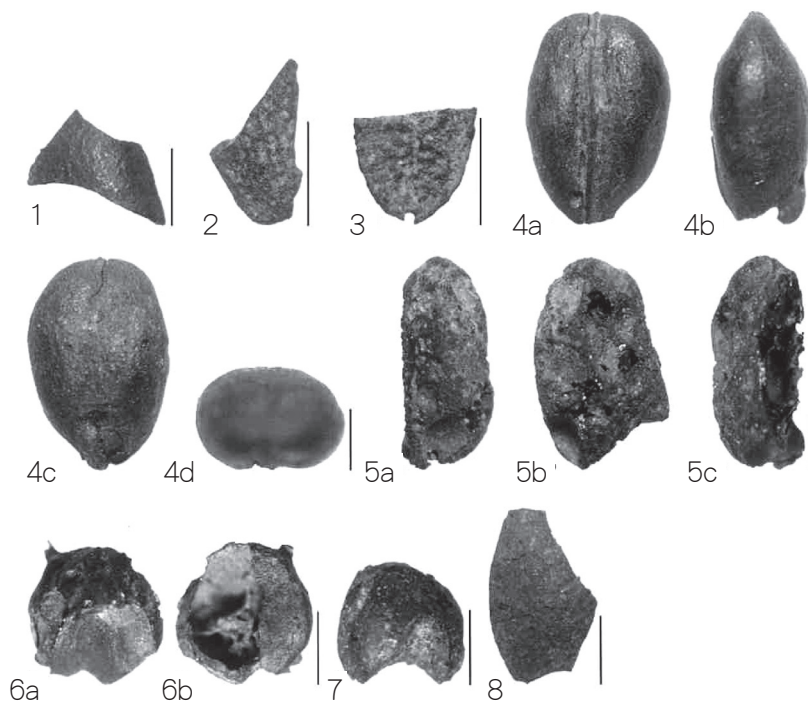


写真 シブノツナイ竪穴住居群で出土した炭化種実
(スケールバーは1mm)

植物 2：草の仲間

草の仲間は4種類見つかりました。4はオオムギ、5はコムギ、6・7はキビ近似種、8はアサです。大半が穀類で3種類あり、オオムギが最も多い7点、キビ近似種が2点、コムギが1点です。擦文文化は雑穀農耕が普及し始めた時期と考えられているので、シブノツナイで見つかった穀類は周辺で栽培したものの可能性があります。しかし畑の跡は見つかっていないので、交易で入手した可能性も考えられます。

この他にも、分類不能ではありますが多くの炭化種実が見つっています。また、まだまだ同定を終えていない種実も多くあるので、今後新たな種類のものが発見される可能性があります。詳細は今年度末に発行予定の調査総括報告書に掲載します。楽しみにお待ちください。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」 2025年10月号 No.189

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099 - 6404 北海道紋別郡湧別町栄町219 - 1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…林印刷所（中湧別北町）発行…令和7年10月24日

記事へのお問合せは下記へ

*社会教育課社会教育グループ…電話：01586 - 5 - 3132 FAX：01586 - 5 - 3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

*湧別図書館……………電話：01586 - 5 - 3122 FAX：01586 - 5 - 3256

*中湧別図書館……………電話：01586 - 2 - 3150 FAX：01586 - 2 - 3190

*ふるさと館 JRY……………電話：01586 - 2 - 3000 FAX：01586 - 2 - 3200